

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第33期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	元気寿司株式会社
【英訳名】	GENKI SUSHI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長社長執行役員 佐伯 崇司
【本店の所在の場所】	栃木県宇都宮市大通り2丁目1番5号
【電話番号】	028(632)5711
【事務連絡者氏名】	経理部長 斎藤 義範
【最寄りの連絡場所】	栃木県宇都宮市大通り2丁目1番5号
【電話番号】	028(632)5711
【事務連絡者氏名】	経理部長 斎藤 義範
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第2四半期 連結累計期間	第33期 第2四半期 連結累計期間	第32期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	11,892,292	11,681,402	22,530,148
経常利益(千円)	111,271	130,001	142,918
四半期純利益または四半期(当期) 純損失( )(千円)	327,640	156,658	825,697
四半期包括利益または包括利益 (千円)	356,409	138,492	856,828
純資産額(千円)	3,333,674	2,918,483	2,780,082
総資産額(千円)	10,458,756	11,477,285	10,050,630
1株当たり四半期純利益金額または 1株当たり四半期(当期)純損失金 額( )(円)	37.10	17.74	93.50
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	31.9	25.4	27.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	102,063	576,597	1,906
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	79,656	288,187	454,283
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	429,070	453,196	401,827
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	2,615,995	2,836,684	2,107,039

回次	第32期 第2四半期 連結会計期間	第33期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	7.08	19.45

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第32期第2四半期連結累計期間及び第32期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第33期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第32期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響を受け経済活動に弱い動きが見られ、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、震災直後の自粛ムードは和らいだものの、お客様の節約・低価格志向が依然強く、加えて企業間の競争・競合の激化から経営環境が益々厳しくなっております。

このような状況の中で当社グループは、この震災後を「第二の創業」と位置づけ、『「女性とお子様」をキーワードに、心地良くて、楽しくて、もう一度来たいと思われる店にする』『業界最先端企業として、新たな世界を切り開く』を基本方針に店舗展開し、人材育成や営業力の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高116億8千1百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益1億1千7百万円（前年同期比12.7%減）、経常利益1億3千万円（前年同期比16.8%増）、四半期純利益1億5千6百万円（前年同四半期は四半期純損失3億2千7百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (レストラン事業)

レストラン事業におきましては、来店客数の増加基調を維持し、客単価アップを図るとともに、店舗収益力を強化するため、各種営業政策を実施してまいりました。

店舗展開につきましては、前連結会計年度から引き続き「魚べい」に経営資源を集中し、「すしおんど」から「魚べい」への業態転換を推進いたしました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、新設店4店舗を出店し、不採算店9店舗を退店したことにより、総店舗数は163店舗となりました。また、改装等につきましては、業態転換を含め20店舗を実施いたしました。

この結果、レストラン事業の業績は、売上高111億3千2百万円（前年同期比2.3%減）、セグメント利益3千7百万円（前年同四半期はセグメント損失7百万円）となりました。

#### (フランチャイズ事業)

フランチャイズ事業におきましては、フランチャイズ先との良好な関係維持と新規出店の促進を図るため、派遣指導等を充実するとともに季節メニューの紹介や食材の販売強化に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、香港に5店舗、中国に2店舗を出店し、総店舗数は59店舗となりました。

この結果、フランチャイズ事業の業績は、売上高5億7千6百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益1億2千5百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億2千9百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には28億3千6百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、5億7千6百万円（前年同四半期は1億2百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1億7千3百万円、減価償却費3億2千万円による増加があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2億8千8百万円（前年同四半期は7千9百万円）となりました。これは主に、店舗の新設等による支出4億9千万円があった一方で、差入保証金等の回収2億2千3百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、4億5千3百万円（前年同四半期は4億2千9百万円）となりました。これは主に、長期借入16億円を行った一方で、短期借入金の返済3億円、長期借入金の約定返済7億4千1百万円を行ったこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
計	33,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名 または登録認可金融商 品取引業協会名	内容
普通株式	8,882,908	同左	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	8,882,908	同左	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	8,882	-	1,151,528	-	1,344,671

( 6 ) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名または名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)グルメ杵屋	大阪府大阪市住之江区北加賀屋3-4-7	2,985	33.60
(株)足利銀行	栃木県宇都宮市桜4-1-25	402	4.52
元気寿司取引先持株会	栃木県宇都宮市大通り2-1-5	365	4.11
東京海上日動火災保険(株)	東京都千代田区丸の内1-2-1	88	0.99
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	83	0.94
元気寿司従業員持株会	栃木県宇都宮市大通り2-1-5	68	0.77
遠藤食品(株)	栃木県佐野市下彦間697	66	0.74
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	62	0.70
三菱UFJ信託銀行(株)	東京都千代田区丸の内1-4-5	54	0.61
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口1)	東京都中央区晴海1-8-11	46	0.52
計	-	4,222	47.53

(注) 1. 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、以下のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口) 82千株

日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) 61千株

日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口1) 46千株

2. 上記のほか当社所有の自己株式52千株(0.58%)があります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 52,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,812,400	88,124	-
単元未満株式	普通株式 18,308	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,882,908	-	-
総株主の議決権	-	88,124	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名または名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
元気寿司株式会社	栃木県宇都宮市大通り2-1-5	52,200	-	52,200	0.58
計	-	52,200	-	52,200	0.58

2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、桜橋監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,107,039	2,836,684
売掛金	153,306	156,474
商品及び製品	223,494	274,365
原材料及び貯蔵品	55,850	48,909
その他	1,049,194	938,608
貸倒引当金	2,786	2,247
流動資産合計	3,586,098	4,252,794
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,208,949	5,371,942
土地	761,962	761,962
リース資産	881,782	1,488,262
その他	1,048,664	1,005,891
減価償却累計額	4,699,009	4,751,932
有形固定資産合計	3,202,349	3,876,125
無形固定資産	190,023	181,044
投資その他の資産		
差入保証金	2,205,453	2,347,149
その他	907,160	824,678
貸倒引当金	40,454	4,506
投資その他の資産合計	3,072,158	3,167,320
固定資産合計	6,464,532	7,224,490
資産合計	10,050,630	11,477,285

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	703,083	829,895
短期借入金	1,551,452	1,468,712
未払法人税等	51,000	54,791
賞与引当金	70,000	143,000
資産除去債務	31,150	18,000
その他	1,169,140	1,278,581
流動負債合計	3,575,825	3,792,980
固定負債		
長期借入金	2,029,041	2,670,445
リース債務	722,618	1,189,219
資産除去債務	316,594	309,918
その他	626,468	596,237
固定負債合計	3,694,722	4,765,821
負債合計	7,270,548	8,558,801
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,151,528	1,151,528
資本剰余金	1,344,671	1,344,671
利益剰余金	518,542	675,201
自己株式	70,204	70,295
株主資本合計	2,944,538	3,101,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,217	724
為替換算調整勘定	163,238	183,346
その他の包括利益累計額合計	164,456	182,622
純資産合計	2,780,082	2,918,483
負債純資産合計	10,050,630	11,477,285

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	11,892,292	11,681,402
売上原価	4,711,506	4,793,596
売上総利益	7,180,785	6,887,805
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	3,468,722	3,292,087
賞与引当金繰入額	142,385	138,828
その他	3,435,085	3,339,388
販売費及び一般管理費合計	7,046,193	6,770,303
営業利益	134,592	117,502
営業外収益		
受取利息及び配当金	613	399
仕入割引	55,287	53,719
受取賃貸料	24,632	27,850
その他	10,108	30,397
営業外収益合計	90,641	112,366
営業外費用		
支払利息	28,439	42,538
為替差損	69,721	41,143
その他	15,802	16,185
営業外費用合計	113,962	99,867
経常利益	111,271	130,001
特別利益		
固定資産売却益	771	-
貸倒引当金戻入額	1,694	-
賃貸借契約解約損戻入益	62,478	73,460
特別利益合計	64,944	73,460
特別損失		
固定資産除却損	5,325	1,869
投資有価証券評価損	-	3,648
減損損失	65,653	20,654
賃貸借契約解約損	21,946	3,779
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	294,345	-
特別損失合計	387,271	29,952
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	211,055	173,509
法人税、住民税及び事業税	47,111	30,911
法人税等調整額	69,473	14,060
法人税等合計	116,585	16,851
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	327,640	156,658
四半期純利益又は四半期純損失( )	327,640	156,658

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	327,640	156,658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	860	1,941
為替換算調整勘定	27,908	20,108
その他の包括利益合計	28,768	18,166
四半期包括利益	356,409	138,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	356,409	138,492
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	211,055	173,509
減価償却費	257,175	320,044
減損損失	65,653	20,654
貸倒引当金の増減額( は減少)	1,694	36,486
賞与引当金の増減額( は減少)	13,000	73,000
受取利息及び受取配当金	613	399
支払利息	28,439	42,538
賃貸借契約解約損戻入益	62,478	73,460
固定資産除売却損益( は益)	4,553	1,869
賃貸借契約解約損	15,876	3,779
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	294,345	-
売上債権の増減額( は増加)	12,306	3,581
たな卸資産の増減額( は増加)	39,344	44,978
仕入債務の増減額( は減少)	71,816	131,626
その他	115,353	38,648
小計	138,382	646,764
利息及び配当金の受取額	645	414
利息の支払額	28,886	43,890
法人税等の支払額	8,078	26,691
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,063	576,597
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	208,964	379,144
有形固定資産の売却による収入	771	-
無形固定資産の取得による支出	2,672	6,463
差入保証金の差入による支出	21,825	104,528
差入保証金の回収による収入	155,448	223,142
その他	2,414	21,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	79,656	288,187
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	-	300,000
長期借入れによる収入	1,200,000	1,600,000
長期借入金の返済による支出	675,618	741,336
リース債務の返済による支出	41,922	105,376
配当金の支払額	52,987	-
その他	400	90
財務活動によるキャッシュ・フロー	429,070	453,196
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,097	11,959
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	432,379	729,645
現金及び現金同等物の期首残高	2,183,615	2,107,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,615,995	2,836,684

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び預金勘定	2,615,995千円	2,836,684千円
現金及び現金同等物	2,615,995	2,836,684

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	52,987	6	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年10月29日 取締役会	普通株式	52,985	6	平成22年9月30日	平成22年12月1日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン	フランチャイズ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,389,661	502,630	11,892,292	-	11,892,292
セグメント間の内部売上 高または振替高	-	42,021	42,021	42,021	-
計	11,389,661	544,651	11,934,313	42,021	11,892,292
セグメント利益または損失 ( )	7,839	129,723	121,883	12,708	134,592

(注)1. セグメント利益または損失( )の調整額12,708千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用  
であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益または損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン	フランチャイズ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,132,870	548,531	11,681,402	-	11,681,402
セグメント間の内部売上 高または振替高	-	27,475	27,475	27,475	-
計	11,132,870	576,006	11,708,877	27,475	11,681,402
セグメント利益	37,645	125,834	163,479	45,977	117,502

(注)1. セグメント利益の調整額 45,977千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用  
であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



( 1株当たり情報 )

1株当たり四半期純利益金額または1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額または1株当たり四半期純損失金額( )	37円10銭	17円74銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額または四半期純損失金額 ( )(千円)	327,640	156,658
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額または四半期純損失金額( )(千円)	327,640	156,658
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,831	8,830

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

元気寿司株式会社  
取締役会 御中

### 桜橋監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 川崎 健一 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 吉田 貴典 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている元気寿司株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、元気寿司株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。